

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院泌尿器科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2014年4月1日 ～ 2029年3月31日の間に、前立腺がんのために虎の門病院泌尿器科に入院・通院し、前立腺がんに対する治療を受けた方

### 【研究課題名】

前立腺がん患者における性機能と排尿機能の維持と制癌性の両立に関する包括的臨床研究

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

前立腺がんに対する手術と放射線治療の影響を評価し、性機能、排尿機能の維持とがん制御の最適なバランスをどのように提供できるかを探求します。

#### 《研究に至る背景》

前立腺がんは、予後が良好ながんの一つです。このため、前立腺がんの治療戦略を選択する際には、がんの根治だけでなく、治療後の生活の質(QOL)の維持、特に性機能と排尿機能の保持が重要です。制癌性と治療後の生活の質の維持の両立が求められます。当院では手術と放射線治療のいずれも提供可能であり、それぞれの治療の影響を包括的に評価し、これらの治療法が性機能と排尿機能の維持とがん制御の最適なバランスをどのように提供できるかを探求します。

### 【研究期間】

2024年3月25日 ～ 2034年3月31日

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 において研究終了後 5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

**【利用する診療情報】**

診療情報：検査データ、診療記録、心電図、MRI・CT等の画像データ、薬歴、看護記録、病理データ

**【研究代表者】**

該当なし

**【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】**

研究責任者：虎の門病院 ・ 浦上 慎司

研究機関の長：院長 門脇 孝

**【利用する者の範囲】**

該当なし

**【研究の方法等に関する資料の閲覧について】**

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

**【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】**

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2029年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

**【相談窓口】**

虎の門病院 泌尿器科 浦上 慎司・阪口 和滋

電話 03-3588-1111(代表)